

学校の願い

- ・多様性を認め、他者と積極的に関わり、協働的に課題に向かう子どもを育てたい。
- ・予測困難な時代を生きるために、未来を切り開く資質や能力を身につけさせたい。

明日も楽しみな学校

保護者・地域の願い

- ・子どもたちが安心して楽しく通える学校にしてほしい
- ・基礎的基本的な学力や生活習慣を身につけてほしい。
- ・進んで明るいあいさつができるようになってほしい。

本年度の重点的取り組み

友を思いやり、
共に高め合う仲間づくり

- ①多様性を尊重する子ども
- ②協働的に課題に向かう子ども
- ③明るいあいさつが聞こえる学校



- ・子どものよさを引き出す支援（子どもを見つめ理解する）
- ・安心して過ごせる居心地のよい学校・学級（傾聴、寄り添う）
- ・インクルーシブな教育（多様性を包みこむ、合理的配慮）
- ・子どもの視点に立った支援（信州型UDの研修）
- ・なかよし旬間、姉妹学級、縦割り活動、集会活動の充実

子どもと共に作る授業
「教える→学ぶ」授業へ

- ①主体的に学ぶ子ども
- ②探究的に学ぶ子ども
- ③自律して学ぶ子ども



- ・問い、振り返りを大切にした授業（授業改善・授業研究）
- ・個に応じた「できる」の積み重ね（モジュール時間の活用）
- ・教科担任制・授業交換の導入（授業の質向上・児童理解）
- ・家庭学習の見直し（ドリルや復習と探究的な学習）
- ・タブレット端末の有効活用（つながる、発見する、表現する）

見通しを持って、
粘り強く取り組む態度の育成

- ①何でも粘り強く取り組む子ども
- ②しじみ清掃に取り組む子ども
- ③歩いて登下校する子ども



- ・総合的な学習の時間の充実（探究的、課題解決的な活動）
- ・学級のタカラモノ（〇年〇組の学級自慢）
- ・自分たちの児童会（学校生活をよりよくする自治的活動）
- ・自分の取り組みを振り返り、自信につなげる。

ふるさと中佐都を愛する心

- ①地域に開かれた学校
- ②地域の方と交流する子ども
- ③校外へ学びの場を広げる子ども



- ・コロナ禍でも可能な地域交流（教科、総合的な学習の時間）
- ・外部講師によるクラブ活動（他学級との活動、地域との交流）
- ・中佐都CS応援団との連携（学校支援・学校評価）
- ・各種ボランティアとの連携（学習支援、地域の中の学校）

自己肯定感
の向上

予測困難な社会で
自分らしく
生きていくための
資質・能力の育成

学び続ける職員集団

自己課題の研究 授業改善 校内外の職員研修
児童理解研修 非違行為防止研修 信州型UD研修
学校自己評価



保護者・PTAとの連携

授業参観 学級懇談会 教育相談
支援会議 情報共有
各種PTA活動



地域との連携

中佐都CS応援団 見守り隊
学習ボランティア 支部行事
育成会（区長会）

